

今回（2013年8月10日～8月16日）、Canada Desolation Sound に、Canada ヨット協会の一つである ISPA (International Sail and Powerboat Association) の Coastal Navigation の研修に行ってきたので報告します。

— Summertime 牧 信哉 —

Desolation Sound は、御存知の方もいると思いますが、Vancouver の北、フィヨルド地形で入り江が入りこんだ、干満の激しい所でそれに伴い水路の流れが変わり、Turn といってそれかわる時期（出来れば満→干）にその場所を通り抜ける様に schedule を組むという所ですが、周りには手つかずの自然が残っており、北米ヨット乗りには憧れの場所です。

Vancouver の South Terminal で今回一緒に旅する N さん（高校教師）と会い、20人乗りくらいの飛行機で今回の旅の始まりである Port Hardy まで 35 分の flight、空港には今回の私たちの instructor で ISPA の創始者でもある B さん (Canada に帰化した日本の方です) が来ていて、挨拶した後 Taxi で港に着き、今回の住居兼研修所になる船 (Janneau 37ft) と、アメリカ在住で今回私たちより 1 週早く乗り込んでいる K 君と会う。これから 6 日間はこの男 4 人で共同生活です。遊び兼食料調達用魚釣り許可証を買う (35\$)。夜は波止場そばの Sports Bar で自己紹介を兼ねた宴会して、明日からに備えて寝る。



8.11 (日) Port Hardy 0800 出発、走りながら、running fix, 3 point fix など、現在位置を目標物、compass、chart、定規を使って割り出し、divider を使って DR (dead recognizing) といって、30 分、1 時間後の推定位置、到着時刻を推定しながら航海は続く。この時、役に立つのが chart に付いている地図 (True) と磁石 (Magnetic) の方位を示した compass rose と定規で、今迄に漠然と使っていた物の使い方、大事さが判りました。

*iPad の Navionics、GPS などを使えば事は簡単なのですが、それが使えなくなってもその原理は同じなので、なくても出来る様に勉強しようという研修です。

Anchoring しようとするも high season のため、良い場所には他の船がいて、作戦変更して Lagoon Cove という marina に付く。船の乗り降りは必ず midship である事を安全のため励行する様にと言われる。今迄適当に乗り降りしていたので反省。着いたら持ち寄り party (Pot luck) をするというので船にあったスナック菓子とビールを持って参加。Marina の人は shrimp(ここで取れたもの)を茹でたものを準備、あとは各船から色々持ってきて勝手に飲んでいる感じです。Marina の owner はルーマニア生まれのアメリカ国籍の人で、夏はこっちに来て冬は close (寒いので人も来ない) して、静寂が好きでここに来ているので music なし。静かで豊かな気持ちになれました。夜 明日のコース、Turn の時期を調べて am730 に出航と決まり、まず寝る。



8.12 (月) Lagoon cove 出発後、難関である Whirlpool Rapid を通り過ぎた辺りで魚釣りタイム、Rock Fish (メバルの一種) を get ! Bickley Bay(びっくりベイと勝手に命名)に到着。anchoring に挑戦するもうまくいかず、B さんに代わって anchoring してもらった。残念！ 夜は Rock Fish の刺身と鍋 (美味しい!)、ご飯 (B さんはおこげが好きなので必ずおこげあり) + wine、翌日のコースを決めて、潮の流れを check , Turn の時刻を調べて寝る。



8.13(火) Bickley Bay を0850に Dent Rapid の入り口にいる様に0730 出航、Dent rapid, Devil hole (名前のお通り Turn の時、西海橋みたいにうず巻いて、結構怖い)、を超えた所で霧が出てくる。霧用の long ホーン(4~6 秒)を鳴らし、VHF で更新しながら走る。Turn の時期は走る船も多くなり、VHF で向こうから 2 隻来る情報入り、走っていると向こうも霧の中でホーン鳴らしながら来る。VHF の有用性を痛感する。最後の難所 Yaculta rapid を越え、ひとまず安心。名前不明だが、滝を見に行く。Anchoring して上陸予定であったが、船多く anchoring する場所ないので、見るだけにして、到着時刻、現在位置を check しながら、今日の停泊予定で今回の highlight である Desolation Sound(Prideux Heaven ; フランス語)を目指す。現在位置、暗岩、予定コース check しながら到着。さすがに停泊している船が多く、風も強まってきたので、ちょっと面倒だが Bahamian anchoring する。これも研修です。あとは Beer 飲んでロープ結び練習する人(私)、食料調達する人など自由時間を楽しみます。

8.14 (水) Desolation sound 出発、目的地の Powell River まで近くなってきて時間に余裕ができたので、食料調達。私たち訓練生 3 人は長靴をはいて、tender に乗って牡蠣取りに行く。バケツ一杯の牡蠣と、Rock Fish 数匹 Get ! Refuge Cove に向かう。しかし、入港待ちが 3 艇待っているし、雨、風少しずつ出てきたので、計画変更し Bliss Landing という半分 private marina にとめる。3 日ぶりのシャワー浴びることが出来て、ちょっと happy。運動不足なので 4 人で山に歩きに行く。自然の blue berry あり、熊の糞もある。(熊用スプレーは必携です)、カナダ在住の B さんに聞くと熊よりクーガーが怖いとのこと。

日本は平和ですよ。Beer 飲んで、島影におちる夕日堪能する。夕食は Rock Fish の煮付け、蒸した牡蠣 (B さん作) + wine。旨い！





8.15 (木) Bliss Landing で、ISPA の特徴である one line docking (ロープ 1 本で離着岸の時船を止める方法) の練習後、すぐ傍の島 Copeland island に向かう。鳥とか多く National Park になっています。ここも high season で Anchoring をするのに先客がいる。色々探した挙げ句、Anchor + 陸に 3 本(anchor, chain ,rope) 十字で留める。Anchor は海の上でなく、陸に固定しても可なのです。Depth 計算上 (これが潮見表から近くの港選び出し計算と面倒くさい) で、このままでは干潮になったら底に当たってしまう事が判明、調整する。その後は食料調達、Rock Fish に加えて Ling Cod (タラの一種) を Get。有り難く鍋にして頂く。美味しいので骨までしゃぶる。最終日のコース決め、not more than, not less than (危ない場所を通るとき、目標を決め compass でそれ以上もしくは以下にならない様にコースをとる)の勉強をして明日のコース決め、寝る、

8.16 (金) 最終日です。雨あり、南風強し。潮も flood tide で向かい潮 霧ありで最終目的地 Powell river に向かう。Lund 沖通って、Powel River 1450 着。だが、南風強くなり、停泊する場所がない！ Harbor master の助力で stern, port 着けの rafting(船抱き合わせ、3 隻までは可、人によってはいやがる人も。日本と一緒に)、隣の人が良い人でまず安堵。締めめの宴会でギリシャ料理を食べに行く。あっという間に過ぎてしまった 6 日間を思い出し、喋りながら、飲みながら、美味しく食べる。Blue Berry Festival と縁日の準備をしている。寄って行きたいが、飛行機の出発が迫っているので断念。Vancouver 着後、B さんに予約してもらった、ヨットハーバーのすぐそばのホテルに向かう。ヨット一色のこじんまりしたホテルで人気があるみたいです。金曜日ということもあり、夜 10 時過ぎても、ヨット、モーターボートが走っていて、生活と海が密着しているのを感じました。



以上、ちょっと長くなってしまいましたが、この1週間は、目から鱗の毎日でした。その中でも、

- 1 停泊の際のロープワーク (Round Turn two half hitch など) の違い。
- 2 VHF の多用 ; これでは海難事故は大分減ると思います。
- 3 Coast Guard (Canada の海上保安庁) の対応 ; 皆 sailor は Seamanship に則って行動しますが、万が一座礁等発生し自力回復が無理と判断した時は、すぐに連絡、救助となり、それによる日本の様な取り調べ、裁判はありません。“Have a nice day ! “で終わりです。今回も Copeland 付近で座礁が発生し、私たちの上を水上機が飛び回っていましたが、VHF で発生から一件着落まで報告がありました。

と、良い意味でみんなが海と繋がっているのを実感しました。B さんから、最後に “M さん、格好良いヨット乗りになって下さい。” といわれましたが、今後の目標はこれかな？

興味のある方は、世界の色々な所で研修をやっているのので、海外旅行兼ねて参加してみても如何でしょうか？